---第 24 期---

No.04
2022/09/30

八ヶ岳歩こう会　会報

■事務局からのお知らせ

◎3 月頃の時候の挨拶に「啓蟄の候」という決まり文句がありますね。「蟄」とはすごもりの虫のこと、「啓」とはひらくことです(広辞苑)。今頃(9 月末～10 月初)の決まり文句は「蟄虫戸を胚す」(すごもりのむしとをとざす)だそうです。時候の文言は時々対になる季節に対句のような関係になって表れるものがあるようです。
虫たちは早くも土の中へ巣ごもりの支度を始めるようですが、私たちはいよいよ運動の秋、食欲の秋です。秋の田の金色の稲穂の見事なこと。山路に落ちている栗や銀杏を拾いながら歩くのも楽しみ。人家の塀の向こうから金木犀の甘い香りが漂ってきたり、風もないのにゆれている紫苑など、思いがけない場面に遭遇したりするのも、歩いていて心豊かになるひと時です。歩くには最適な季節がやってきました。マスクを外して外に出ましょう。

◎早川美知子さんに切手を寄付していただきました。ありがとうございました。

◎退会者：平賀正子さん(北杜市)

【2022 年 10 月の行事詳細】

■10 月 5 日(水)　月例会　韮崎市民交流センター(ニコリ)　1 階第 2 和室 10：00

■10 月 10 日(月)　鏝絵巡りシリーズ第 9 回　原村菖蒲沢・払沢地区の鏝絵巡り
八ヶ岳連峰から西になだらかに傾斜する原村は、標高 1,000mを中心として森林と農用地が広がる自然豊かな村です。東には八ヶ岳、北に霧ヶ峰高原、北西はるか向こうは北アルプス、南には甲斐駒ヶ岳を望み、村のどこにいても四季折々の素晴らしい景観を体感できます。
人々は昔から高冷地での農業に苦労し、漆喰壁の米倉を建て、各家の願いを込めて「鏝絵」を施していました。個性豊かな鏝絵の点在する風景が原村の魅力のひとつでもあります。
今回は中央線青柳駅から広大に広がる農用地をはさんで原村の玄関口：菖蒲沢地区、役場・学校・図書館・スーパーなどが集まる原村中心部の払沢地区の鏝絵を巡ります。数々の鏝絵に加え、きれいに刈り込んだ蔵をすっぽりと覆う防風生け垣もまた蔵の街に彩りをそえ、蔵を大切に守ってきたこの地の人の心をうかがうことができます。

緑と光あふれる田園風景をたのしみながら、宝さがしの気分で原村の鏝絵を巡ってみませんか。

・コース：青柳駅（トイレ）－菖蒲沢（鏝絵４件）－室内公民館－図書館前公園（昼食・トイレ）－払沢（鏝絵 11 件）―原村役場（トイレ）－判ノ木－青柳駅（トイレ）
・距　離：約１５ｋｍ
・集　合：青柳駅　９時２０分
（甲府 8:16→韮崎 8:29→穴山 8:36→長坂 8:55→小淵沢 9:02→青柳 9:17）
・解　散：青柳駅　１５時（予定）
（青柳 15:10→小淵沢 15:38→長坂 15:45→穴山 15:56→韮崎 16:04→甲府 16:１７）
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：昼食　飲み物　雨具　ウォーキングダイアリー（会員のみ）　保険証等
・担当者：小澤 久（070-4219-7394）　村松光比古（090-6526-6737）
・その他：標高差約 150ｍで、スタート地点から昼食場所に向かっては上り、帰りは下りとなります。青柳駅から原村の台地に上がるまでのしばらくは急な上り坂、帰りには一部未舗装の林道も歩きます。

■10 月 17 日（月）　おすわさんの謎 ～諏訪大社下社周辺フットパス～
上社でのおすわさんの謎は解けたでしょうか。諏訪の人々にとってのおすわさんは、①出雲の神さん（タケミナカタ）がやってきて土着の神さんモリヤと争い勝利して諏訪明神となった、②諏訪明神は自分の代わりに大祝（おおほうり）を神さんに指名、自身は隠居？した、③大祝は神（みわ）を名乗り、その一族が祭祀のみならず政治にも力を持ち、のちに鎌倉幕府に仕え諏訪を名乗り軍事力をも持つようになり、軍神としても崇められるようになった、④出雲から逃げてきたタケミナカタって誰、知らないよ、ってところでし

ょうか。上社と下社の二社四宮という珍しい体制、これは何の為でしょう、二社はどんな関係なのか、これは今回の下社ウオークでもう少し考えてみましょう。勝頼が諏訪の総領を継げなかったのは何故か、これについてはまだ何の手掛かりも得られていません、今後の課題です。下社秋宮のご神体(ご神木)はイチイの木、春宮はスギの木とされています、でも下社の神さま御霊代は宝殿の中に鎮座され２月と８月の遷座では神輿で移動されます。この御霊代とご神体(ご神木)とはどういう関係なのでしょうか、新たな疑問です。おすわさんには通常の観光や参拝ではあまり見ることのない場所や建造物などがたくさんあります、なぞ解きに挑戦しながらこれらを見て歩きましょう。今回はフットパス形式で、解説を加えながら約５Kmのコースをゆっくり歩きます。諏訪大社には今まで何度も足を運んだよという方にも新たな発見があるとおもいます。

・コース：JR 下諏訪駅(トイレ) → 犬射馬場(いぬいばっぱ)→諏訪大社下社秋宮(トイレ)
→ 青塚古墳 → 諏訪大社下社春宮(トイレ)→ 浮島 →万治の石仏 → 下馬橋
→JR 下諏訪駅(トイレ)

・距　離：約５km

・集　合：JR 下諏訪駅　９：４０
甲府 8：16→小淵沢 9：02→下諏訪 9：38

・解　散：JR 下諏訪駅　12：30 頃
上り電車の情報　下諏訪発 12：22 甲府行き　13：05 小淵沢乗換　13：56 茅野であずさに乗換　14：52 塩山行き

・参加費：会員 300 円　一般 500 円

・持ち物：飲み物・雨具・マスク・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他

・担当者：大嶋 俊壽

・その他：下馬橋付近でダイアリーの押印をし、一旦仮解散とします。その後下諏訪駅までのどこかで昼食を摂る等、以下の選択肢を参考に帰りの電車の時間と併せて各自で決めてください。
選択肢１　弁当持参またはコンビに利用などで素早く昼食を摂り 13：05 小淵沢行きに、小淵沢で高尾行きに乗換というお急ぎコース
選択肢２　ゆっくりと昼食を摂り 13：56 茅野行き、茅野であずさに乗り換えるリッチなコース
選択肢３　超ゆっくり昼食、駅周辺をぶらぶらし 14：52 塩山行きという余裕、余裕のコース

■10 月 24 日(月)　日本三大堰・徳島堰を巡るみち(Part2)
美しい日本の歩きたくなるみち５００選(19-8)

今回は、秋が深まった武田の里を横切るようなコースになります。　うしろを振り返ると、八ヶ岳連峰が裾野をいっぱいに広げた雄大な姿を見せてくれます。秋の青空に映えて、素晴らしい絵になります。
コースにおいては、列の間隔をあけない様に、歩行ペースに注意していきます。また、車の往来の多い箇所があります。なるべく一列に並んで、お互いに声をかけあって注意しながらの楽しいウォーキングにしていきます。

・コース：穴山さくら公園（トイレ） → 常光寺（トイレ） → 武田八幡神社（昼食・トイレ）
→ 願成寺（トイレ） → 韮崎駅（トイレ）
・距　離：約１２ｋｍ
・集　合：穴山さくら公園（ＪＲ中央線穴山駅となり）　９：３０
塩山駅 8：18→甲府駅 8：38／8：51→穴山駅 9：12
小淵沢駅 8：48→穴山駅 9：16
穴山さくら公園のとなりに、無料駐車場があります。
・解　散：ＪＲ韮崎駅　１５；００頃
上り韮崎駅 15：21→甲府駅 15：34→塩山駅 15：53
下り韮崎駅 15：56→小淵沢駅 16：22
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー（会員のみ）・保険証・マスク・
その他
・担当者：田中哲夫（090-4927-5044）・恵星富子・池田敏子・望月澄子

■10 月 31 日（月）　江戸巡礼古道ウォーク～秩父三十四札所巡り～ 第 2 回
7 番：法長寺～17 番:定林寺
秩父札所のおこりは文暦元年（1234 鎌倉時代中期）と伝えられています。長享二年（1488 室町時代中期）には秩父札所番付が実在することから秩父札所が定着していたと考えられます。
ただ当時の札所は三十三カ所で、札所の順番も現在とは異なっていたようです。長野県佐久市にある石碑から大永五年（1525 室町時代後期）には現札所二番の真福寺も含め秩父三十四カ所となり、西国三十三、坂東三十三と合わせ日本百観音と数えられてきたようです。江戸時代までには四萬部寺を一番として始める現在の番付に改められ、点在する札所を結び江戸方面からの巡礼がしやすいよう巡礼道が整備されたようです。秩父札所は江戸からも近くまた全ての札所が秩父内（武蔵の国秩父郡）にあり、二十五里ほどで全てを巡ることができることから江戸時代元禄年間には江戸の庶民の秩父巡礼が盛んに

なりました。ちなみに西国は一巡約二百五十里、坂東は一巡約三百里で、庶民が巡るにはかなりハードルが高かったと思います。江戸巡礼古道を使い秩父三十四札所を巡るウォークの第二回目です、札所７番の法長寺を出発し札所 17 番の定林寺あたりをゴールの目標にしますが、帰りの時間を優先し４時から４時半頃には秩父を出発します。７番から 10 番の大慈寺までは距離約６Km で平坦な街歩きです。10 番から 11 番常楽寺までは約 1.5Km の尾根伝いの遊歩道コースを予定しています。その後は街歩きというよりは田舎道歩きですが、こんなところが江戸巡礼古道？と思うような人家の庭先や狭い路地があったり、結構楽しめます。

・コース：法長寺 → 西善寺 → 明智寺 → 大慈寺 → 常楽寺 → 野坂寺→ 慈眼寺→ 今宮坊 → 少林寺 → 西光寺 → 定林寺
トイレは各札所とコース上にいくつかあります。昼食場所は未定です、ゴールの札所は進行状況により前後します。

・距　離：約 12km

・集　合：平田家住宅前駐車場 7：00 甲府駅北口 7：50
道の駅花かげの郷まきおか 8：30

・解　散：道の駅花かげの郷まきおか 18：20 頃 甲府駅北口 19：00 頃
平田家住宅前 20：00 頃

・参加費：会員 500 円 一般 1,000 円
バス代 会員 5,500 円　一般 6,000 円(バス代は参加者数等により増減の可能性があります)

・持ち物：弁当、飲み物、雨具、ウォーキングダイアリー(会員のみ)、保険証等

・担当者：大嶋俊壽(080-2044-4766)

・その他：新型コロナウィルスの感染状況によっては再延期、中止の可能性もあります、ご承知おきください。

・申込み：「バス乗車地」と「携帯番号」を添えて以下に申し込んでください。日程の変更等もありましたので第１回目に参加してくださった方も改めて参加申し込みをしてください
多賀純夫 Mail: taga-ya@pairhat.jp　Fax: 0551-32-6877

【2022 年 11 月の行事詳細】

■11 月 2 日(水)　月例会　韮崎市民交流センター(ニコリ)　2 階第 9 会議室 10：00

■11 月 7 日(月)　　鏝絵巡りシリーズ第 10 回　長坂の鏝絵巡り

山梨県の鏝絵処は津金と小淵沢、でもその間に位置するここ長坂にも十数カ所に鏝絵がみられます。須玉や津金に多く見られる「松に鷹」は 1 件だけ。「松に鶴」はこのコース以外にも 1 件あり合計 3 件。いずれもデザインはそっくりで、それをそれぞれ違う味に仕上げています。同じ職人さんの作品なんでしょうね。

小海線甲斐小泉駅を起点に長坂駅までを標高差 400m 以上を歩き下るこのコース、距離はありますが前方に冨士、左に奥秩父連邦、右に甲斐駒そして背後に八ヶ岳と四方に名山を眺めながら快適に進めるウォークです。

・コース：甲斐小泉駅（トイレ）－小荒間地区（鏝絵４件）－横針集落（鏝絵１件）－中央高速八ヶ岳パーキング（昼食・トイレ）－白井沢地区（鏝絵１件）－西和田地区（鏝絵１件）－成岡地区（鏝絵３件）－きららシティ（トイレ）－大八田塚原地区（鏝絵２件）－長坂駅（トイレ）
・距　離：約 15ｋｍ
・集　合：１０：２０　小海線甲斐小泉駅前駐車場
（甲府 8:51→韮崎 9:05→穴山 9:12→長坂 9:36→小淵沢 10:07→甲斐小泉 10:15）
・解　散：１５：３０　長坂駅
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：昼食　飲み物　雨具　ウォーキングダイアリー（会員のみ）　保険証等
・担当者：小澤 久（070-4219-7394）　村松 光比古（090-6526-6737）

■11 月 11 日（金）　信玄棒道ウォーク（ポッキーをもって棒道を歩こう）

■11 月 14 日（月）　谷村路を往く（第 3 回）

■11 月 16 日（水）　リハビリウォーク＆膝痛・腰痛対策などの講習会

■11 月 18 日（金）　ぶらり中山道　十二兼駅～妻籠宿
概要：「夜明け前」の冒頭「木曽路はすべて山の中である。或る所は岨づたいに行く崖のみちであり、あるところは山の尾をめぐる谷の入り口である。一筋の街道はこの深い森林地帯を貫いていた」の文章は、今回歩く三留野宿あたりを頭においたものです。木曽路最深部を経て今回ようやく妻籠宿に到着します。（次回は妻籠宿～馬籠宿を歩いて「木曽路」を卒業し、次々回から「美濃路」に入っていきます）
・距離；11 キロ（ＪＲ十二兼駅～妻籠宿）

・バスコース往路：穴山駅(7：50)⇒長坂ローソン(8：10)⇒小淵沢駅(8：30)⇒十二兼駅近くの路側帯(11：25)
・バスコース復路：妻籠宿⇒JR 十二兼駅(近くの路側帯)⇒穴山駅 19：00)
・現地集合の方：JR 十二兼駅に 11：25 集合
・参加費：会員 300 円 一般 500 円
・バス代：会員 5.500 円 一般 6.000 円
・持ち物：飲み物、ダイアリー、雨具、保険証
・昼食：弁当持参か食堂利用か未定です。次号会報までお待ちください。
・担当：多賀純夫(090-8857-2864) 風路和子(080-6715－3826)
・申し込み：メールは歩こう会の ML でも OK です。又は taga-ya@pairhat.jp 又は FAX 0551-32-6877
バス乗車地と携帯番号をお知らせください

■11 月 21 日(月) 500 選の道(19-9) 甲斐の道・秩父往還
晩秋の松里は、毎年の風物詩になるオレンジ色に染まった枯露柿のすだれを見ることができます。地元では(えんざんやま)という愛称で親しまれている塩ノ山自然遊歩道を歩き、昔の面影が色濃く残る古道・秩父往還巡りウォーキングになります。途中においては、甲斐の小鎌倉と呼ばれている、武田の歴史にふれる名刹・恵林寺を訪ねます。少し欲張ったコースになっています。
コースにおいては、緩やかな坂道の塩ノ山自然遊歩道(標高５５６M)を歩きます。休憩時間を十分にとりながら、列の間隔を開けないように歩行ペースに注意していきます。

・コース：JR 塩山駅北口(トイレ)→塩山温泉郷→塩ノ山自然遊歩道→放光寺(昼食・トイレ)→恵林寺(トイレ)→常泉寺→甘草屋敷→JR 塩山駅(トイレ)
・距　離：約 12ｋｍ
・集　合：JR 塩山駅北口　9：30
上り 小淵沢駅 8：01→穴山駅 8：19→韮崎駅 8：27→甲府駅 8：41・甲府駅 8：54→石和温泉駅 9：01→塩山駅 9：13
下り 大月駅 8：46→塩山駅 9：25
・解　散：JR 塩山駅　15：30
・参加費：会員 300 円　一般 500 円

・持ち物：弁当・飲み物・雨具・マスク・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他
・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)　小塚敏夫(090-2175-0426)

■11 月 26 日(土)　500 選の道(19-10) とみざわ・六地蔵を巡るみち

秋が深まった南部の郷、どっしりと構える篠井山を横に眺めながら、柔らかな落葉が敷きしめた東海自然歩道に足を踏み入れながらのウォーキングになります。
傍では、色濃く染まった紅葉を眺めながら、道端では、祠が静かに佇んでいます。心が洗われていきそうです。又、心地よい汗を肌に感じながら、六地蔵公園に辿り着くと優しい顔をした六地蔵さんが迎えてくれます。今までの疲れがとれていきます。
コースにおいては、車にお互いに声をかけあいながら注意していきます。又、列の間隔をあけないように、歩行ペースに注意していきます。楽しいウォーキングにしていきます。

・コース：JR 身延線、井出駅(トイレ)→富栄橋(富士川)→道の駅とみざわ(トイレ)→六地蔵公園(昼食・トイレ)→福士金山のイチョウ→最恩寺(トイレ)→道の駅とみざわ(トイレ)→井出駅(トイレ)
・距　離：約１５KM
・集　合：電車を利用の方は、井出駅。車を利用の方は(道の駅とみざわ)駐車場、(迷惑かけない様に駐車して下さい)
井出駅 9：40(田中哲夫)→(道の駅とみざわ) 10：30(小林光修)道の駅で、待ち合わせて一緒になって歩きます。
中央線上り小淵沢駅 6：03→穴山駅 6：20→甲府駅(着)6：40
下り大月駅 5：54→甲府駅(着)6：41
身延線上り甲府駅 7：15→井出駅 9：34　下り富士駅 7：45→井出駅 8：39
※甲府駅・中央線→身延線、乗り継ぎ時間３５分ほどあります。余裕を持った時間で行動しましょう。
冨士駅方面の方は、集合時間に 60 分程早めに着きます。ご了承ください。
・解　散：井出駅　予定 15：00　道の駅とみざわ　予定 14：10
上り井出駅 15：30→富士駅 16：20　下り井出駅 15：14→甲府駅 17：15
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・マスク・その他
・担　当：田中哲夫(090-4927-5044)　小林光修(090-4676-2067)
※身延線の運行が中止になりましたら、前日(25 日)にホームページにてお知らせします。ホームページを見られない方は、お手数ですが、田中哲夫・小林光修、両人に問い合わせて下さい。

【2022 年 12 月の行事詳細】

■12 月 5 日(月)　江戸巡礼古道ウォーク(第 4 回)

■12 月 7 日(水)　月例会　韮崎市民交流センター(ニコリ)　2 階第 9 会議室 10：00

■12 月 12 日(月)　500 選の道(19-8) 日本三大堰・徳島堰を巡るみち(第 3 回)

■12 月 16 日(金)　鎌倉殿の 13K

■12 月 24 日(土)　冬の甲府城と城下町巡りウォーク

【月例会】
・月例会は毎月一度の話し合いの場です。どなたも歓迎ですのでご参加下さい。
【例会参加者へ】
・特に表記のない例会は、雨天決行です。
・特別の場合を除いて事前申し込み不要です。
・例会は、どなたも参加できます。
・(下見)とある例会も本番同様進行します。ご遠慮なく参加お願いいたします。
・会員は会員証とウォーキング手帳を御持参下さい。(貰っていない方は事務局へ)
・タイトルの前に※があるのは当会主催ではありません。
　他会主催の場合の詳細はそれぞれの主催者にお問合わせ下さい
・例会についての質問は、担当者名が掲載されていればそこへ。それ以外は事務局へ。
　八ヶ岳歩こう会事務局 / 多賀純夫 電話 0551-32-5888　FAX 0551-32-6877